

ぼっけもん



お誕生おめでとう

(2月28日までの届出分・敬称略)

住 所	保 護 者	性 別	出生児
地心寺	長重 成穂	男	友翔 (ゆうと)
飯隈	清水 昭博	女	美樹 (みき)
仮宿1062-5	東平 博志	男	海斗 (かいと)
永吉	西竹 信也	男	雅仁 (まさと)
菱田1339-1	森下 康雄	男	康介 (こうすけ)
仮宿1955-1	福澤 裕次	男	諒大 (りょうた)
仮宿1772-6	野崎 高志	女	桜香 (はるか)

ごめい福をお祈りします

香典返しとして、次の方々が大崎町社会福祉協議会に寄付をしてくださりました。故人のごめい福をお祈りします。

(2月28日までの届出分・敬称略)

東新町	川越 剛 (亡義姉) 川畑カツ子	68歳
弁 付	出田 和子 (亡 夫) 虎男	77歳
横 町	益倉 睦美 (亡 夫) 親造	78歳
崎 園	馬場 幸男 (亡 妻) サチ	78歳
岡 下	岩切 タミ (亡 夫) 作次	90歳
西新町	川越 博行 (亡 兄) 昭彦	45歳

大崎文芸

薩摩郷句 三條風雲児 選

兼題 『口』

北村虎王

こら堪さん口ごえ義父ん焼耐ん相手

(唱) 膝をくずせち一向じや言わじ

植村聴診器

口上手な寸借詐欺ん騙されつ

(唱) 嵌つ齒痒いか隣や近所

諸木小春

五体なんだ中古じやつどん口ちやかのつ

(唱) 嫁ん悪口ちゆうちよい姑御

満石うらら

言なち言で我慢れば口が痒ゆけなつ

(唱) すつたい堪さん態の喋いごろ

西ノ園ひらり

良か語い口とな内心が違ごあつ

(唱) 信用は出来ん奴じやち噂

春一番祈願の絵馬の鳴り止まず

宮下 のし

襟巻をそつと掛けたし芙美子像

折田 スズ

冬日和道に出でけりはぐれ猿

内村美恵子

大河の堤の果や春の海

二見 淑子

終の淡き蕾や夕暮るる

坂元つる子

枯野より湯煙のぼる山の宿

餘利野静子

すれ違う汽車に手をふる冬帽子

三浦 倫子

大崎俳句会